

代表質問・一般質問	2～5面
決算特別委員会審査概要	5面
委員会の活動状況	6面
決算に対する各会派の意見	7面
議案等の概要と結果	8面



区民サービスセンター(渋谷区庁5階)

平成23年度各会計歳入歳出決算額

区 分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一 般 会 計	838億 452万 8,214円	773億 5,522万 3,655円	64億 4,930万 4,559円
国民健康保険事業	218億 8,262万 2,984円	211億 8,634万 2,580円	6億 9,628万 404円
介護医療事業	111億 55万 47円	110億 7,589万 4,996円	2,465万 5,051円
後期高齢者医療事業	41億 3,224万 8,870円	41億 1,881万 860円	1,343万 8,010円

平成二十三年度 各会計歳入歳出決算を認定 一般会計補正予算、国民健康保険事業会計補正予算を可決。

平成二十四年第三回定例会は、九月十九日から十月十七日までの二十九日間開かれ、初日と二日目の本会議では、五人の議員が代表質問を、六人の議員が一般質問を行いました。九月二十八日の中間本会議では、平成二十四年度一般会計補正予算及び国民健康保険事業会計補正予算を可決しました。十月十七日の本会議では、区長提出議案三件を可決、平成二十三年度各会計歳入歳出決算四件を認定、報告五件を聴取しました。また、請願二件を採択、四件を不採択とし、意見書四件と決議一件を決定しました。

第三十二回オリンピック競技大会及び 第十六回パラリンピック競技大会 東京招致に関する決議

オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会は、スポーツを通じ、人類の相互理解と国際平和の実現に大きく貢献し、国民に夢と希望を、また、大きな感動を与えてきた。昨年の東日本を襲った大地震と巨大津波、それに伴う福島第一原子力発電所の事故の放射能等による多大な被害から、復興・復興に全力で取り組んでいる我が国にとって、オリンピック・パラリンピックを開催することは、全国民に希望を与え、復旧・復興のシンボルにもなる。また、八年後に輝きを取り戻した日本の姿を全世界に示すことは、各国から寄せられた支援に対する謝意を表すと共に、日本の復興の証となる。

候補地がイスタンブール、マドリッド、東京の残り三都市に絞られた。オリンピック・パラリンピック競技大会は、これまで多くの人々に感動を与え、また、昭和三十九年に開催された第十八回オリンピック東京大会は、渋谷区の発展に大きく寄与した。今回の招致が実現すれば、日本國中、ひいては渋谷区もさらに活性化する大きな力となる。よって、渋谷区議会は二〇二〇年の第三十二回オリンピック競技大会及び第十六回パラリンピック競技大会の東京招致を強く求めるものである。

平成二十四年十月十七日

右決議す。

渋谷区議会

代表質問

街づくり・防災・高齢者福祉・障がい者福祉等 6 点を伺う



自由民主党
下嶋 倫朗 議員

百年後を見据え、激化する都市間競争を勝ち抜く仕組みづくりが必要。国際交通アクセス、宿泊施設等課題を克服し、平和な文化交流を進めることにより人間の創造性を高める国際文化都市でなければなりません、と思っております。

防災について
都の被害想定の見直しや防災センターの開設を経て、以下の点について聞きたい。説明会での意見をどのように反映し、増加に浸透させていくのか、増加する避難者に対するために避難所などの対応を講じるのか。災害時医療体制の拠点をどこに置き、どのような連携体制を構築するのか。

街づくりについて
本々、本年四月渋谷にかりがオープンし、東京の newName として多くの来訪者を集めている。今後、予定されている複数の再開発による集客数の増加等を考え、渋谷駅周辺の交通整備、渋谷駅周辺の道路整備、渋谷駅周辺の街づくりをより良いものとするため、交通環境のあり方は重要である。タカシの車道白線や交通渋滞の改善、歩行環境の改善等、主要道路の将来を形成していくことにより、駅と周辺を結ぶ多様な歩行者ネットワークの強化、連携が実現する。総合的な歩行環境整備により、誰もが歩いて来し、また渋谷を表現し、魅力ある街づくりへの取り組みを進める。五年後、

障がい者福祉について

問 グループホーム、ケアプランの設置、拡充は最重課題であるが、すべり区がどのような支援を行っているか、学校施設を通じていかにも含めて講ずる必要があると考えるが、考えを聞きたい。

答 民間事業者との連携、協力、基本としているが、財政負担も考慮し助成を検討していく。

問 子どもたちの「トイレに行けない症候群」が深刻化し、多くの学校が悩んでいる。改善のガイドとして機器の洋式化、節水型トイレの導入等の変更、改修が必要と思うが所見を伺う。子どもたちも教育の観点から必要と考えるが自分たちで清掃することも学校の観点から必要と考えるが所見を伺う。

答 学校トイレは教育環境として、公衆道徳を教育実践の場であるため、清潔で明るい環境であるが、学校の意見も聞きながら、節水型機能を備えたトイレの導入について改修時に取り入れる。公共性や規範意識を学ぶ機会のため、学校現場でも取り組んで、子どもたちが自ら清掃するよう、教育委員会、学校長にもお願いしている。

問 昨今、いじめ問題は教育者の根幹を揺るがす、ゆゆしき事態であるが、問題解決の取組みについて、聞く。

答 区立学校長の在り方検討委員会、区立学校の在り方検討委員会の設置について、将来の区立中学校の学校規模等、大きな課題が検討されていると思慮する。区立学校児

童生涯減少問題審議会の答申から十数年が経過し、教育を取り巻く環境も大きく変化し、将来に向けて、老朽化していく学校施設をどうしていくかも含めて講ずる必要があると考えるが、考えを聞きたい。

問 いじめは決して許されない。日頃から未然防止、早期発見、迅速に対処していくことが何よりも重要と認識している。学校、保護者、地域と一体となり、いじめのない学校づくりに全力を傾けたいと思いを込めて、子どもたちを支えるために誠心誠意努力したい。

答 区立小中学校に於ける課題について検討することを目指す。区施設等の多目的トイレと男性トイレ内おむつ交換台の設置等により、父も育児しやすいイクメン支援を、また、パパ子育て講座の開催を、二十五年年度に待機児童口実現に向けて対策を講ずる。児童虐待防止対策での早期発見、待つための対応を伺う。

問 子育て支援センターを出張所単位に拡充し、地域密着の体制整備を。区施設等の多目的トイレと男性トイレ内おむつ交換台の設置等により、父も育児しやすいイクメン支援を、また、パパ子育て講座の開催を、二十五年年度に待機児童口実現に向けて対策を講ずる。児童虐待防止対策での早期発見、待つための対応を伺う。

問 五カ所に開設の認定こども園と子育て支援センターの機能は備わっているが、今後も建替えや大規模改修の機会を捉え、さらに整備する。講座も積極的に実施したい。来年四月、四カ所の認定こども園(すれぞろ員人数超、の開設等)で五百人も家庭支援センターでは、各機関との連携により家庭状況を把握し、ヘルパー派遣、シートステイ等、保護者に寄り添った体系的支援を実施している。地域を貫き通るような立き声通等、貴重な情報を、あり、疑わしい状況でも子どもの安全

子育て支援対策、高齢者福祉、教育等 5 点を伺う



公明党
久永 薫 議員

防災対策について

問 防災センターを開設し、四カ所を経過したが、開設の命を争う危機管理の整備状況は、避難所での対応、備品品の確保等、どのように女性の視点を生かしているのか。

答 天井材や照明器具の点検結果は安全が満たされていたが、今後重点点検は行なう。代々木小の耐震工事の経過を伺う。

問 防災情報システムやデジタル情報の整備、地域との連携の共有の仕組みづくりは取組んでいる。避難所運営委員会でも女性がメンバーとして活躍し、妊産婦の確保や女性、育児用品等について話し合われている。天井材や照明器具、窓ガラス等の耐震化については、その重要性が改めて認識されている。教育委員会の点検では危険箇所はなかったが、点検継続し、補強が必要であれば早急に対応する。学校以外の施設も同様に進める。三月末を予定として、国の基準「ラック」の強度とかなる。

問 相談し出向けない方や治療を中断している方が、重要で「パルサー」(訪問看護)が重要であり、医師の拡大を図る。区長、保健師がアウトリーチを取り入れ支援している。さらに都の精神保健福祉センターのアウトリーチ支援事業を活用し相談の拡充を図り、きめ細かく対応する。

問 認知症患者の増に伴い、予防とケア対策が急務。早期受診に繋げる方法や訪問相談等について伺う。介護者が認知症患者を安心して寄り添えるよう、介護支援センターを開業しては、療養施設を技術向上が行政サービス向上に繋がる。地域の介護支援専門員の研修等、育成、強化が必要と思うが。

答 見守りサポート事業を通じて情報をいただき医療等に繋げたい。地域包括支援センター職員等が訪問する場合もあり適切な支援を行っていく。介護者リソースや交流会や家族介護者教室を実施し、認知症の方々は残存機能を生かしながら法で自立を手助けし、介護者の負担軽減を助けていく。都の担い手、他、介護支援専門員等研修を年四回実施しており、一時的な取組みを継続したい。



区立小学校授業風景



渋谷区立小学校

保険料などの負担軽減を

問 区民や中小企業に耐え難い負担を強い増税に反対を。大増税は我慢すべき。

答 国は判断すべき課題。消費増税大増税について。

保険料の負担軽減、小学校の統廃合問題等について伺う



日本共産党 新保 久美子 議員

問 社会保険料や所得税教育に力を入れる松山、幼との違いと取組みを伺う。学区を一元化に伴い教職員の連携をどのように進めているのか。

答 全ての子どもが等しく質の高い幼児教育、保育を受けられるよう、教職と保育士が幼児教育プログラムを共同して、研修会も開いて相互理解を深める場として、教育園、小一から五年間の一貫した英語活動が大きな特色。小一から週一時間、年間三十五時間実施し、給食時間や放課後等にも A・L・T と触れ合う時間を意図的に作っている。

子どもを大切に育てる保育園

問 効率化、財政削減として公立保育園、幼稚園を廃園にして、公的責任を放棄、子ども



代々木小学校



問 山谷、代々木小学校の統廃合計画は、区、教育委員会の決定を強引に押し付けるもの。保護者、子どもも心を傷つけ住民無視の山谷、代々木小学校の統廃合は白紙に、山谷小学校の耐震化は白紙に、学校規模の拡大は、教育を困難にし、地域のコミュニティを壊すもの。統廃合を進める検討委員の設置は、重大な大津のいじめ問題で、やまなは、事実を隠へいたし学校や教育委員会の姿勢が明らかにしたこと、一人ひとりの子どもへの内面的苦しみを理解し寄り添う学校づくりを、緊急調査結果と対策は、

答 考えはない。児童の命と安全が第一と考案計画は数はない。いじめの認知件数は小中で二十八件、相談窓口の強化等対策を講じ、どの学校でも起こり得る認識で学校や保護者等が一体となり対応。

出所問題について

問 住民サービス拠点の恵比寿、水川出張所を戻すべき。

答 地域の理解を得ている。旧代々木警察跡地問題、都と現庁に求めるべき。町会等の取組を促す。

防災・エネルギー・環境政策、教育行政等について伺う

問 スタッドバイの配備、緑化の目標は、木造密集地域の火災対策として排水栓の活用のためスタッドバイの配備を、都と現庁に求めるべき。

答 町会等の取組を促す。

出所問題について

問 住民サービス拠点の恵比寿、水川出張所を戻すべき。

答 地域の理解を得ている。旧代々木警察跡地問題、都と現庁に求めるべき。町会等の取組を促す。

出所問題について

問 住民サービス拠点の恵比寿、水川出張所を戻すべき。

答 地域の理解を得ている。旧代々木警察跡地問題、都と現庁に求めるべき。町会等の取組を促す。

犠牲の認子どもと園を推進している。公立保育園は、保育行政の中核、上原、神宮保育園の認可中止と西原保育園の廃園、認可保育園増設で待機児を解消すべき。

問 住民サービス拠点の恵比寿、水川出張所を戻すべき。

答 地域の理解を得ている。旧代々木警察跡地問題、都と現庁に求めるべき。町会等の取組を促す。

実情と対応について伺う。就労意欲を高めるための中間的就労紹介についての見解は、孤立死を防ぐためにライフライン関係と協力し、支援のネットワーク構築を。

問 不正は四件、収入申告の指導を徹底し、全額返還を命じた。越、より効果的な支援の実施に取組む。個人情報提供に協力し求めることについて。

答 教育施設再興、いじめ問題に

山谷小と代々木小をめぐり、このように観点から議論されてきたが、統合計画は、一たん凍結し、仕切り直しが必要であると考えるが、本町幼稚園、西原幼稚園は今後どうなるのか。いじめ問題では、新たな犠牲者を出さない取組みについての方針を伺う。児童生徒の出席停止措置をどう考えるか。学校運営上、安全確保のため、時間を置かず解決

生活保護の不正受給の

生活保護の不正受給の防止に努める。生活保護の不正受給の防止に努める。

山谷小と代々木小をめぐり、このように観点から議論されてきたが、統合計画は、一たん凍結し、仕切り直しが必要であると考えるが、本町幼稚園、西原幼稚園は今後どうなるのか。いじめ問題では、新たな犠牲者を出さない取組みについての方針を伺う。児童生徒の出席停止措置をどう考えるか。学校運営上、安全確保のため、時間を置かず解決

教育施設再興、いじめ問題に

山谷小と代々木小をめぐり、このように観点から議論されてきたが、統合計画は、一たん凍結し、仕切り直しが必要であると考えるが、本町幼稚園、西原幼稚園は今後どうなるのか。いじめ問題では、新たな犠牲者を出さない取組みについての方針を伺う。児童生徒の出席停止措置をどう考えるか。学校運営上、安全確保のため、時間を置かず解決

山谷小と代々木小をめぐり、このように観点から議論されてきたが、統合計画は、一たん凍結し、仕切り直しが必要であると考えるが、本町幼稚園、西原幼稚園は今後どうなるのか。いじめ問題では、新たな犠牲者を出さない取組みについての方針を伺う。児童生徒の出席停止措置をどう考えるか。学校運営上、安全確保のため、時間を置かず解決



西原幼稚園

山谷小と代々木小をめぐり、このように観点から議論されてきたが、統合計画は、一たん凍結し、仕切り直しが必要であると考えるが、本町幼稚園、西原幼稚園は今後どうなるのか。いじめ問題では、新たな犠牲者を出さない取組みについての方針を伺う。児童生徒の出席停止措置をどう考えるか。学校運営上、安全確保のため、時間を置かず解決

スポーツの持つ力、自転車にも優しいまちづくり等を伺う



無所属ク 伊藤 毅志 議員

問 スポーツの持つ力について、PRが必要だがランはあか、公立中学校ではお招致の寄与活動が必要と思うが、区民の活性化に繋がる区民にも支持される、アスリート職員の採用を提案する。



渋谷・表参道ウィメンズランで、オリンピック招致PR活動

自転車にも優しいまちづくり

区内の自転車走行空間の整備にむけ関係機関を取りまとめてほしい。「自転車安全利用対策協議会」の「中間のまとめ」に、自転車駐留場の整備の項目を、「自転車ナビマーク」を都市計画道路補助六十号線に設置する考えはないか。協議会参加に「今後のまちづくりや道路整備備において、自転車通行環境

しなければならぬ。児童福祉センター運営への児童、児童施設や保育園等、一体的な計画の中で本町幼稚園は、今年度末まで、幼保一体化施設についていきなり、一定の経過期間を設けた上で、西原はんぶんずり、きき、教育委員会の、児童の命と安全を守るための緊急の課題であり、最優先の進め。教育園、地域や関係機関の協力も得ながら全の環境の中で、いじめ撲滅のために全力で取り組むことが重要。いじめに関する出席停止は治療法を考へる。手前係者が、解決への対応で最大限に努力し、解決すべきものである。

こども夢チャレンジ事業ではオリンピック出場選手を招き、慣れや関心を持ってもらっている。PR活動は各団体に協力し差にを進める。スポーツ事等に協力して動く場をつくっていくために、教育委員、渋谷区での開催は、国際感覚を身につけ、心もとにもたくましく人材を育成するチャンス、様々な機会を活用して、児童生徒、保護者に周知徹底を図りたい。

の整備の視点が不可欠」とい
う一文の挿入を、渋谷プラ
ザを PR として、渋谷ハイ
クを区別のレタリング等
に採用できないか、
区長 警察や国、都の意見
も取り入れ進める。安全利
用の直轄の課題とは考えない
設置する方向で進める。
その言葉が情報発信を意図
する。情報発信には意を
払って、購入は別途考えたい、

渋谷の歩みについて

区道「道のネーミングにつ
いて」ルートを作るべき、美
竹通り、整頓との合せ見解
を伺う。警察街のこのみ取
集方法の見直しと絡めて、十
月以降の特別整理街地区の平
日毎日収集の見直し希望を伺
う。

命を守る方向を決めるべきではないか

「美竹通り」については側面
から応答する。事業系ごみ
削減と美観向上施策として定
規、ルールの上で進めてきて
いる。きめ細かい指導取組
と地元町会等の協力を促す

防災対策について

今年度、操作が簡易な
消火用タンクドバイを配備
されたか。今後の見直しは、
本庁舎は耐震補強工事等以外
に建て替えを考慮している。
区長 今年度は六本を配備
し今後要望に応じたい。消
防団等と連携して講習や訓練
で指図を進め、建て替えも
一つの方向だが、財政運用等
の見極めが必要。耐診断の
結果で考える。

被褥回収について

平成七年当時、審議会
が答申した。渋谷区における
小規模校の規模、について
のような見解が、学校統合
等を含む、具体的な方法を
在り方検討会に求めるとも、
「学校選択希望制」をどうか
評価しているが、重点校指
定のない、普通中学校、代々
木中学校、原宿外死中学校の
今後の特色づくりは、
教務長 審議の結果として
重く受け止める。学校の教
育環境や、持続可能な学校規
模、区独自の教政策の検証
を行うが具体的な策は求めな
い。保護者に定着させる職
員の意識改革も進んだ。専
力をいれ、また、特設の地、
力を入れており、後述のよう
に、財政上の問題、区民の理
解等検討を進める。建設費
金は提案を踏まえ課題とする。



財政上の問題

区民の理解等検討を進める。建設費
金は提案を踏まえ課題とする。

高齢者施設について

旧代々木高校跡地の特
設の進捗状況と、本町中小
学校跡地の四画をお尋ねす。
区長 来年八月閉校に向け
準備、事業者は17日に等
力を入れており、後述のよう
に、財政上の問題、区民の理
解等検討を進める。建設費
金は提案を踏まえ課題とする。

生活支援受給者について

生活支援受給者は去年
で二倍近く増加しているが
生活保護制度の適正化が必要
であるが所見を伺う。
区長 ケーシスターを行うとい
う。ケイ・スワーカー増や就
労支援、医療過剰受診防止
指導等進め実施に取り込む。
区長 広域中学校の生徒や町
会の沿革を消しに行っており
区長 区内で広がっており、
防犯カメラの設置推進を伺う。
区長 全区的活動によるよ
うな支援を。犯罪の防止
抑制の視点、商店街等と連携
し必要箇所に設置したい。

広域中学校について

区内の大型自動車について

区内の大型自動車は、大音
響き問題であり規制申入れを
区長 規制が必要で、都にお
いて他県と連絡し問題解決を
進めたい。

渋谷谷本町学園の成果について

渋谷谷本町学園の成果と
今後を伺う。ミニミニ・
スクールを進め方を伺う。
区長 思いやりや自主的
な行動が必要で、教員も指導
力向上が図られ、今後小中
一貫校の特色を生かすも、
取組を。保護者や地域が協
力し学校支援本部の形をとる。
思北考地域の実施成果を検証
し他地区への導入を検討

一般質問

**区役所本庁舎、福祉、防犯、
防災など7点について伺う**

新民主派 渋谷
佐々木 弘明 議員

区役所本庁舎について

定期借地権設定による老
朽化した本庁舎の建て替え資金
の捻出等、検討されている。
区長 建て替えの必要性は認識

**庁舎内職員組合事務所につ
いてほか3点を伺う**

みんなの党
須田 賢 議員

庁舎内職員組合事務所について

区内でも複数の自治体で
庁内労組事務所の賃料徴収の
実施や検討が進んでいる。渋谷
区でも事務所の使用料につ
いて、労働組合と協議した上
で社会通念上適切と思われる
金額を徴収することを検討す
る考えがあるかを伺う。
区長 現在まで渋谷区公有財
産管理規則に基づき使用を許
可し、使用料は免除している。
社会状況の変化等を踏まえた
が、今後、検討、協議をして
いく。

脱法ハブについて

脱法ハブが問題となつ
ており、渋谷の脱法ハブ店
が摘発を受けたと報じられて
いる。現状の区内における脱
法ハブについて認識と、
都とのように連携し対応し
ていくか、また、違法薬物の
青少年への啓発について、よ
り効果のある対応を取り
組むべきと考えるか、今後の
施策について見解を伺う。
区長 五月に六本通り都・
警署とよく話し、警署が行
った広域行政事務だが、
蔓延や危険発生の防止のため
連携強化に対応していく。
区長 渋谷区に区立幼稚園存続を
求めるための請願。
区長 昨年十二月に採択され
た請願をめぐり、受け止めた
区長 区が区議会とともに
考える幼児保育施設とは、
西原幼稚園、教育、教育とも
十分なサービスをけられる

区立西原幼稚園の廃園計画について

区立西原幼稚園の廃園計画
について、請願が採択されること
の意味をどう捉えているか、
西原とりとるが、きんずは
十分なサービスをけられる

危険物対策について

通学学生の帰宅困難者には
どのように情報提供するか
区長 レイは異常気象内
で、トイレを活用して行
く。

**区立幼稚園廃園計画見直し、
学校の統廃合等について質す**

純粋無所属
笹本 由紀子 議員

危険物対策について

通学学生の帰宅困難者には
どのように情報提供するか
区長 レイは異常気象内
で、トイレを活用して行
く。

平成24年6月21日
～平成24年10月17日

委員会の活動状況

総務区民委員会

平成二十四年度渋谷区総合防災訓練の実施結果報告を受けました。
九月一日午前中の訓練では、た代々木公園での訓練では避難所運営訓練、帰宅困難者対応訓練、炊き出し訓練等が行われ、二千人を超える参加がありました。訓練の様子も渋谷FMが実況中継行っており、大変充実したものであります。
午後からは、今年六月に渋谷ヒカリエ八階に完成した、渋谷区防災センターを中心に、参加訓練、災害対策本部早期立ち上げ訓練等が行われ、児童・生徒の安全確認メールの訓練には、四百人を超える保護者の参加がありました。



渋谷区総合防災訓練

都市環境委員会

六月下旬から七月中旬にかけて、区内の所管施設十五カ所を視察しました。
これらの視察を踏まえ、七月二十四日のまどまの質疑の中で、公園や自転車等駐車場の適切な明るさの確保や、公園、緑道等におけるベンチや公衆トイレの改善など、今後とも二層の利便性の向上を図るよう要望しました。
九月十一日、新設された

自転車・自動二輪車用の恵比寿南まちかど公園駐車場、東三丁目駐車場を視察しました。
これらの駐車場は、違法な駐車・駐輪への対策を求め、地域からの要望に応えて設置されたものです。
質疑の中で、地域の公園や声を的確に把握し、課題機能の維持にも留意し、適切に駐車場の整備を進めていくことを要望しました。

文教委員会

スポーツ祭東京(OT三)が、国体等の区区内での開催(概要)について報告を受けました。活躍する選手たちの姿を間近に見られる貴重な機会であり、小学生や市民が観戦できるような配慮を要望しました。
渋谷区私立保育園連合会との懇談会を行いました。各園から保育の状況について説明を受け、意見交換をいたしました。
いじめ問題への取組について報告を受けました。早期発見・早期対応が必要な切実な課題であり、子ども一人一人を大切にしたい報告を受けました。関係者に対する説明は、丁重に受けました。
教育委員会との連携について、関係者に対する説明は、丁寧に行うよう要望しました。

福祉保健委員会

平成二十四年度第一回渋谷区介護保険運営協議会等において、要介護認定状況や介護給付費執行状況等と新設される地域密着型施設との報告を受けました。質疑の中で、介護職員への処遇などについては、引き続き、改善されるよう要望しました。
渋谷区障害者保健福祉計画(第四期)・障害福祉計画(第三期)の住民説明会開催状況について報告を受けました。質疑の中で、グループホーム誘致の条件整備と自発的支援協会の早期立ち上げを要望しました。
七月一日に利用



渋谷区なごきょくが 視察

議会運営委員会

第三回渋谷区議会定例会について、区長から九月九日に招集したいとの報告がありました。
提出予定議案として、渋谷区立学校の在り方検討委員会条例など条例三件、不活化石リウワクン等接種経費などに係る二十四年度一般会計補正予算一件及び国民健康保険事業会計補正予算一件、二十三年度一般会計及び三特別会計の決算認定四件、並びに、二十三年度財政の健全化判断比率の報告及び渋谷市整備公社の経営状況の報告など五件を提出するとの説明がありました。
当委員会では、定例会の会期等を協議し、会期を九月十九日から十月十七日までの二十九日間とし、決算について決算特別委員会を設置して審査することを決定しました。

議会情報公開・個人情報保護実施状況

情報公開関係
(平成二十四年七月一日～十月三十一日)

請求件数	四
公開件数	四十六
非公開件数(不存)	一件
却下件数	一件

個人情報保護関係
(平成二十四年七月一日～十月三十一日)

請求件数	〇
公開件数	〇
非公開件数	〇
却下件数	〇

自治権確立特別委員会

新宿中継所の視察を行い、話を伺って出してほしいとの話がありました。
新宿中継所は渋谷区をはじめ、周辺六区にまたがるため、大型コナテに詰め替え、約二十六軒離れた江東区にある不燃ごみ処理センターに輸送するための施設です。
各区分から直接輸送するの比べ、清掃車九台分のごみを、コンテナで運ぶため、収集効率が高く、交通量の減少により、渋滞緩和やCO₂の削減にも役立っているとのこと。
現場の職員の方からは、コンテナ内でカセットボンベ等が原因と思われる小火が多次発生しており、火災が出た際は、ル



新宿中継所(ごみ運搬中継施設) 視察

交通・公有地問題特別委員会

九月六日、環状第六号線(大手通り)の工事について視察を行いました。
まず首都高速道路株式会社社東京建設局新橋工務所、Pの担当者から歩道橋におけるエレベーターについて説明を受けました。エレベーターの防犯カメラの運用をはじめ、維持管理については、首都高速道路株式会社(平成二十四年七月一日)が管理を行う平成二十四年度中に利用状況を把握め

場合には、清掃回数を増やし、東京都に引き継ぐよう要望しました。
その後、南初台歩道橋、初台台歩道橋、富ヶ谷歩道橋、神山歩道橋の各エレベーターを实地に調査しました。
富ヶ谷歩道橋については、工事未了の一部利用できない階段等の箇所を、利便性向上の観点から速やかに供用するよう要望しました。

